

音楽学部・人文学部教員年次研究報告書

(2004年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的として、例年どおり「研究論集」に「教員年次報告」を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

【音楽学部】

石村 真紀

1. 月刊誌『ムジカノーヴァ』音楽之友社「ピアノ教師のための音楽療法入門」連載 2003年4月～2004年3月
2. 季刊誌『ザ・ミュージックセラピー』音楽之友社「音楽療法入門編」連載 2003年7月～2004年3月
3. ヒューマンケア国際シンポジウム——兵庫県こころのケアセンター開設記念——「音楽療法のさらなる展開をめざして～欧米に学ぶ～」鼎談出演 2004年3月28日 兵庫県立美術館「芸術の館」
4. 「音楽療法実践講座」——感性化トレーニング——講師 NPO法人 音楽療法の会きょうと 2004年5月16日
5. ミュージックセラピー研究会 東京セミナー「コラボレーション」講演 2004年8月25日、26日 東邦音楽大学

*主な活動：兵庫県音楽療法士認定審査委員

日本音楽療法学会評議員（近畿支部倫理委員長）

*主な研究課題：学習障害及び広汎性発達障害の臨床

音楽療法における即興性と表現活動の臨床的意義

小栗 まち絵

1. いずみシンフォニエッタ大阪第7回定期演奏会 2004年2月11日 いずみホール、レスピーギ：ボッティチェリの3枚の絵、ハイドン：交響曲第45番「告别」、西村朗：室内交響 曲第2番（2004）世界初演 他
2. サイトウ・キネン・オーケストラ ヨーロッパ公演 2004年5月23日 パラウ・デ・ムジカ（バレンシア、スペイン）、24日 フィルハーモニーホール（ベルリン、ドイツ）、25日 ウィーン楽友協会ホール（ウィーン、オ

ーストリア)、27日 シャンゼリゼ劇場 (パリ、フランス)、28日 ロイヤルフェスティバルホール (ロンドン、イギリス)、30日 オーディトリウム・デイ・ミラノ (ミラノ、イタリア)、バルトーク：弦楽器と打楽器とチェレスタのための音楽、チャイコフスキー：交響曲 第6番「悲愴」

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団 青少年のためのコンサート 2004年7月25日 阿倍野区民センター、メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

*主な活動：第73回日本音楽コンクール審査員

第58回全日本学生音楽コンクール審査員

第8回松方ホール音楽賞選考委員

第9回 KOBE 国際学生音楽コンクール審査員

2004年度 第34回エクソンモービル音楽賞 洋楽部門本賞受賞

岸 邊 百百雄

1. 日本と台湾の音楽家交流コンサート 2004年3月27日 京都文化博物館ホール、共演者：梨肇修 何信直 阿部裕之 五味敬子、ブラームス：ピアノ五重奏曲 他

2. 広島アカデミー合奏団 第10回モーツァルト協奏曲シリーズ 2004年3月29日 エリザベート音楽大学セシリアホール、共演者：井上一清 J. ルヴィエ 他、モーツァルト：ピアノ協奏曲二短調 K. 446 他

3. 第30回ゆふいん音楽祭 2004年7月31日～8月1日 ゆふいん公民館、共演者：小林道夫 河野文昭 他、シューベルト：幻想曲 D,934、コダイ：ヴァイオリンとチェロのため の二重奏曲 他

*主な研究課題：バロックから現代に至る ヴァイオリンのための楽曲、及び弦楽器を含む室内楽作品の研究

斎 藤 達 男

1. ならチェンバーアンサンブル第67回定期演奏会 2004年5月8日 学園前ホール、ドヴォルザーク：森の静けさ、ピアノ五重奏曲 イ長調

2. 8月の祈り 2004年8月6日 いずみホール、尾上和彦：無伴奏チェロ詩曲

3. 斎藤 建寛 チェロリサイタル「愛の音」 2004年12月14日、エルガー：愛のあいさつ、サン＝サーンス：白鳥 など18曲の小品

*主な研究課題：チェロ奏法の研究

高橋 滋子

1. 新・波の会定期演奏「新作歌曲の夕べ 2004」において『道のかなたに』（高橋滋子作曲 相馬梅子作詞）が演奏される。Sop. 前田尚代 Pf. 川中順子
2004年11月10日 朝日生命ホール（東京）
*主な研究課題：歌曲
*活動状況：毎年1～2曲の新作歌曲を発表

田辺 良子

1. 歴史と共に音楽を楽しむ音楽会シリーズ 2004年2月6日 京都文化博物館、ベートーヴェン「メヌエット」他
2. 京都フィルハーモニー室内合奏団 第136回定期（客演コンサートマスター） 2004年4月23日 京都コンサートホール、モーツァルト：交響曲39番他
3. サマーミュージックフェスティバル 大阪 2004年 2004年8月20日
いずみホール、三善 晃：ヴァイオリン ソナタ
*主な研究課題：ソロ・室内楽・オーケストラにおける様々なヴァイオリン奏法の研究

三谷 美智子

1. 声楽発声指導者養成講座&実習（第1回） 2004年8月28日～31日「呼吸」部門担当（8/28、8/30）相愛学園本町学舎 主催・日本声楽発声学会関西支部
2. ヴォイストレーニング&講座
 - ・2004年1月14日～12月8日 日本歌曲 10回シリーズ 大阪市立阿倍野市民学習センター 主催・大阪市教育委員会
 - ・2004年1月13日～2005年3月 イタリア&日本歌曲 24回シリーズ 大阪市立城北市民学習センター主催・日本音楽教育振興協会
 - ・2004年4月8日～ 日本歌曲 24回シリーズ 大阪市立阿倍野市民学習センター 主催・同上
 - ・2004年4月8日～ ヴォイトレキッズ（小学生ソルフェージュ）大阪市立阿倍野市民学習センター 主催・同上
 - ・2004年度～2005年3月 大阪市立阪南中学校合唱部 発声指導
3. ヴォーカルコンサート 中の島の秋 2004年9月25日 企画（日本発声学会関西支部主催）

大阪市中央公会堂大ホール

*主な活動：日本声楽発声学会関西支部 理事、支部長代行 2004年4月～
2007年3月

日本音楽教育振興協会 理事、事務局長 2003年4月～2005年
3月

宮崎 敦子

1. リッツ・カールトンホテル主催 チャペルコンサート 2004年4月1日
ホテル・ザ・リッツ・カールトン大阪 チャペル
2. 堺オペラシティ主催 ヴェルディ作曲オペラ「ファルスタッフ」 2004年9
月12日 堺市民会館大ホール
3. 相愛コンサート〈オペラオペラオペラ〉 2004年10月21日 相愛学園本
町校舎ホール

若林 正史

1. 吉田雅夫追悼演奏会 2004年5月4日 東京芸術大学奏楽堂、R. シュト
ラウス：明日の朝 OP 27-4、万霊節 OP 10-8、G. フォーレ：レクイエ
ムよりピュ・イエズス、アニユス：デイのフルートオーケストラ版のアルト
フルートを演奏
 2. フルートオーケストラによるオペラ・カルメン 2004年8月8日 やまと
郡山城ホール、アルトフルートパート演奏
- *主な研究課題：フルート演奏、フルートを含むアンサンブル

【人文学部】

相谷 登

1. 「よくわかる司法福祉」ミネルヴァ書房 2004年5月
 2. 「虐待と非行——家族心理学の見地から——」子ども家庭情報センター編
(共著) 2004年3月
 3. 「非行少年と家族関係を考える」第21回日本家族心理学会大会 ワークシ
ョップ(講師) 2004年6月19日 県立広島女子大学
- *主な研究課題：a. 家族システム理論による家族理解
b. 凶悪非行及び犯罪の心理的メカニズムの探求
c. 子どもの監護をめぐる諸問題

- * 主な活動： a. 大阪府虐待防止アドバイザー養成委員
- b. 大阪地方裁判所民事鑑定人

新 井 俊 一

1. “A Shin Buddhist Standpoint on War and Peace” *The Pure Land* (New Series) No. 20, 国際真宗学会 December 2003, 7-19.
2. 「仏教的視点から見た戦争と平和」。「宗教と倫理」第4号、3-16. 宗教倫理学会 2004年10月
3. “The Meaning and Role of the Bodhisattva in Shinran’s Pure Land Tradition” *Horin* (*Vergleichende Studien zur japanischen Kultur* 『日本文化比較研究』) No. 10, 2004, 187-198. 恵光日本文化センター (ドイツ・デュッセルドルフ) 発行

口頭発表

1. 「インド思想におけるアヒンサーの系譜」宗教倫理学会 2004年度第一回研究会 2004年3月24日
2. 「祈りの内実」日本仏教学会 2004年度学術大会 2004年9月17日
3. 「浄土教における生命観と生命倫理」宗教倫理学会 2004年度学術大会 2004年10月16日

講演等

1. “Amida’s Directing of Virtue” 国際仏教文化協会主催、英語による『歎異抄』講演、本願寺開法会館にて 2004年2月7日
2. 「縁起について」。武蔵野大学日曜講演会講演 2004年6月20日
3. “Contemporary Issues and Jodo Shinshu” 浄土真宗本願寺派西山別院で開かれた外国人教師教習での講演 2004年6月27日
4. “Back to Basics”——アメリカ・ホノルル市、Buddhist Study Center Summer Session (仏教研究所夏期仏教セミナー) 客員講師として一連の講演と質疑応答を行う。2004年7月26日～8月6日
5. 「仏道」相愛大学公開講座講演 2004年10月30日
6. “Nembutsu & Shinjin” 本願寺を訪問したカナダの門信徒に対して行った講演 2004年11月27日

- * 主な研究課題： a. 英語による仏教 (特に浄土真宗) の解説と伝道
- b. 英語による仏教書の著述と出版
- c. 仏教書の英語翻訳と出版

- * 主な活動：浄土真宗本願寺派仏教聖典翻訳事業校閲委員会委員
- 大阪外国語大学後援会会長

江 草 浩 幸

1. “Adaptation to left-right reversed vision rapidly activates ipsilateral visual cortex in humans” Satoru Miyauchi, Hiroyuki Egusa, Masahiro Amagase, Kaoru Sekiyama, Toshihide Imaruoka, & Takara Tashiro *Journal of Physiology-Paris* Vol. 98 2004
- * 主な研究課題： a. 刺激－反応適合性効果 b. 色彩の心理的效果
c. 複数の感覚にまたがる注意の瞬き
d. 変換された視野への適応過程

金 政 祐 司

1. Kanemasa, Y., Taniguchi, J., Ishimori, M., Daibo, I. 2004. Love styles and romantic love experiences in Japan. *Social Behavior and Personality*, 32, 265–282.
 2. 「第3章 成人の愛着形成についてのプロセス・モデル (Pp. 47–69)」 In “パーソナルな関係の社会心理学” (編訳：大坊郁夫・和田実) 北大路書房 (Ickes, W., and Duck, S. eds. 2000 *The Social Psychology of Personal Relationships*. Chichester, UK: Wiley.)
 3. Yuji Kanemasa 2004 Effects of adult attachment dimensions on the recognition of facial expressions 28th International Congress of Psychology (ICP 2004) Beijing.
 4. 金政祐司・大坊郁夫 2004 青年期の愛着スタイルが表情認知に及ぼす影響 日本グループ・ダイナミックス学会第51回大会発表論文集, 34–37.
 5. 金政祐司 2004 青年期の愛着スタイルが親密な関係の排他性に及ぼす影響 日本心理学会第68回大会発表論文集, 217.
 6. 金政祐司 2004 青年期の愛着スタイルと対人ストレスコーピングとの関連——幼児期と青年期の愛着スタイル間の概念的—貫性についての検討—— 日本社会心理学会第45回大会発表論文集, 630–631.
- * 主な活動：「第4章 愛する・恋する」“男と女の対人心理学” 監修：和田実 北大路書房 2005年刊行予定の原稿完成
「第2章 愛に関するいくつかの理論」“イラストレート恋愛心理学” 監修：斉藤勇 誠心書房 2005年刊行予定の原稿完成
- * 現在の研究課題： a. 夫婦関係に関する研究
b. 恋愛関係に関する研究
c. 青年期の友人関係と適応性に関する研究

北 崎 契 縁

1. (Writing・Reading 併用) テキスト編纂、『読みから学ぶ英作文』(*Read & Write: Useful Expressions in English*) (松柏社、2005年4月1日発行)
*現在の研究課題・活動状況等
 - a. 『D. H. ロレンス書簡集』の翻訳とロレンスの旅行記に関する論文執筆に向けた準備と研究。
 - b. 2005年6月末～7初旬開催予定の「第10回国際ロレンス学会」(北アメリカ、ニューメキシコ州のサンタフェ)で、‘Something Beyond the Inconsistency of *The Trespasser*’— Nirvana and Anti-Masque as Its Key— という表題で口頭発表の予定。

北 野 裕 通

1. 「身・学・道」相愛大学公開講座 2004年10月2日
*主な研究課題：『禅と京都哲学』(仮題)(2005年、燈影舎より刊行予定)の企画・編集と、その原稿二編および資料二編を執筆中。

木下(森光)有子

1. 「日英語の発想の違い——ことばを尽くす英語と言わずに済ます日本語——」
『相愛大学研究論集』第20巻 2004年3月
*主な研究課題：
 - a. 認知と言語の関係
 - b. 英語と日本語の比較研究

佐々木 豊

1. 日本国際文化学会第三回全国大会(於：神戸大学、2004年7月3日)共通論題 K「太平洋問題調査会(IPR)とその時代」における報告「日中戦争から太平洋戦争期の IPR 英米両カウンスルの摩擦と緊張関係——政治文化の違いの観点から——」
*現在の研究課題：アメリカ合衆国における国際主義的な民間研究団体と財団・政府機関との関係について(冷戦初期を中心に)

佐 野 正 彦

1. 「現代英国における学校から雇用への移行に関わる若者支援施策」『日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)中間報告書』 2004年12月

*現在の研究課題

- a. 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）「現代イギリスの若年労働市場の変容と『学校から雇用への移行』に関する実証的研究」（2004-2007年）を遂行中。
- b. 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）（共同研究）「若年者の学校から雇用への移行過程の実態と支援政策に関する実証的研究」（2004-2006年）を遂行中。

鈴木 徳 男

1. 『平安文学研究ハンドブック』（項目担当） 田中登・山本登朗編 和泉書院 2004年5月
2. 『平安私家集 十』冷泉家時雨亭叢書第二十三巻 共著 朝日新聞社 2004年8月
3. 「俊頼髓腦の成立」和歌文学会秋季大会 早稲田大学 2004年10月

*主な研究課題：平安後期歌学書の研究

*主な活動：a. 和歌文学会委員（関西例会事務局）

b. 『佛教学』(仏教学会誌) 編集委員

c. 俊頼髓腦研究会事務局

砂 川 博

1. 「聖戒の一遍遊行随行について」『時衆文化』第9号 2004年4月
2. 「鎌倉遊行——『一遍聖絵』を読み直す(3)——」『時衆文化』第10号 2004年10月

*主な研究課題：a. 『一遍聖絵』と時衆教団史の研究

b. 平家物語の成立研究

*主な活動：研究誌『時衆文化』（年2回刊行）編集代表

孫 久 富

1. 『日中古代文芸思想の比較研究』496頁 新典社
2. 「漢賦の『都城・宮殿賛美』と長歌の『国見・国褒め』の比較研究」相愛大学『研究論集』第20巻に掲載
3. 講演「日本と中国の古代恋愛文化」日本大学文理学部 2004年11月22日

David Blake Willis

Journal Articles

1. So Far from Here, So Close to Home : Educating Global Citizens for Social Justice, Race, *Ethnicity and Education*, Fall 2004
2. Communicating With Japanese Students : Understanding Cultural Influences On Language And Behaviour, *TESOL : Intercultural Communications*, Volume 1, Issue 3, December 2004
3. Popular Culture and Intercultural Communication in Japan : Imagining the People and the Construction of ESL Education, *TESOL : Intercultural Communications*, Volume 1, Issue 2, September 2004

Chapters in Books

1. A Search for Transnational Culture : An Ethnography of Students in an International School in Japan, Part I, in Edna Murphy, ed., *Culture and the International School : Living, Learning, and Communicating Across Cultures* (London : Peridot Press, 2004)
2. A Search for Transnational Culture : An Ethnography of Students in an International School in Japan, Part II, in Edna Murphy, ed., *Culture and the International School : Living, Learning, and Communicating Across Cultures* (London : Peridot Press, 2004)
3. Transculturals, Transnationals : The New Diaspora, with Walter Enloe and Yasuko Minoura, in Edna Murphy, ed., *Culture and the International School : Living, Learning, and Communicating Across Cultures* (London : Peridot Press, 2004)
4. Communication and Cultural Faux Pas : Influences on the Communicative and Behavioural Patterns of Japanese Students in International Schools, with Fumiko Kondo, in Edna Murphy, ed., *Culture and the International School : Living, Learning, and Communicating Across Cultures* (London : Peridot Press, 2004)

Annual Research Reports

Anglo-Indians : The Bonds of Affection and Loyalty, with J. Rajasekaran, in the Series, Race and Caste in India and America : Case Studies of Power, Community, and Psyche. *Soai Daigaku Kenkyu Ronshu* (Annual Research Report of Soai University), Vol. 20, March 2004

Book Review

Democracy and Diversity, Center for Multicultural Education, University of Washington, September 2004

Transnational Media

1. Learning from Japan or the Loss of Historical Memory? *Guerrilla News Network*, Nov 23, 2004
Going Nuclear: The Coming Wars with Iran and North Korea, with Walter Enloe, *Common Dreams*, Nov 22, 2004
2. We Have A Choice Regarding Annihilation, with Walter Enloe, *Information Clearing House*, October 31, 2004

Teresa Cox

1. "War Games: Game, Sports and Entertainment Language in American Television Reporting of the 2003 Iraq War." *Soai Daigaku Kenkyu Ronshu*, Vol. 20, March 2004, pp. 1-48.

鳥井正晴

1. 「句あるべくも3」『門』第9号 鎌倉漱石の會 2004年9月
*現在の研究課題：漱石文学全般

西口順子

1. 「蓮如と女性」共著、神田千里編『日本の名僧 13 民衆の導師 蓮如』（吉川弘文館2004年）
2. 「中世後期における女性の出家」『国文学解釈と鑑賞』69-6 2004年6月）
3. 「女性と仏教・軌跡と動向」『国文学解釈と鑑賞』69-6 2004年6月）
4. 『平安時代の寺院と民衆』（法蔵館2004年9月）
*主な研究課題：a. 中世公家社会における「家」と尼・尼寺の研究
b. 中・近世滋賀県における絵系図の研究
*主な活動：平成16年度科学研究費補助金基盤研究（B）（1）「尼寺文書調査を基盤とした日本の女性と仏教の総合研究」研究分担者として中宮寺文書・慈受院文書調査を実施

橋元淳一郎

1. 『物理「橋元流」の秘密』学習研究社 2004年3月

2. 『量子力学ノート』 講談社 2004年4月
3. 『カリスマ先生の物理』 PHP 研究所 2004年12月

*現在の研究課題： a. 時間論 b. 物理教育

藤 枝 宏 子

1. 教育相談室事業報告「電話教育相談」 大阪市教育センター 2004年3月

*現在の研究課題・活動状況： a. 小・中・高等学校における生徒指導、教育相談のあり方
b. 指導力を高める国語科教育法

藤 谷 忠 昭

*主な研究課題・活動状況：

『講座・福祉社会』第12巻『新しい共同性の探索——市民社会と政策システム——』（藤村 正之・平岡公一編 ミネルヴァ書房 2005年刊行予定）
中、第11章「情報公開とアカウンタビリティ」執筆

本 多 至 成

1. 「仏教説話の原風景」朝枝善照博士還暦記念論文集『仏教と人間社会の研究』永田文昌堂 2004年3月 p.701-710
2. 講演 国際ロータリークラブ第2660地区「INTERCITY MEETING」の「迷える教育」（今、なぜ道徳教育か）のパネリスト3名の中のひとりとして参加、問題提起を行う 2004年2月28日 大阪国際交流センター
記録誌「2003-2004年度 RI 第2660地区第8組 IM 記録」（2004年6月1日）株式会社アド刊行

*主な活動：

- a. ボーイスカウト連盟「宗教章」（仏教章）取得スカウトに対する仏教講義を担当。2004年11月26日 津村別院
- b. 大阪地区スカウト250名「報恩のつどい」講師 2004年1月25日 津村別院
- c. ボランティア活動 遺徳会 南港咲洲特別擁護老人ホーム「クリスマス
のつどい」 2004年12月18日 約200名のお年寄りを慰問する。

山 下 昇

1. 押谷善一郎監修『アメリカ文学史新考』大阪教育図書 2004年3月

第3章第2節マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』、第6章第2節ウィリアム・フォークナー『八月の光』、第7章第2節ラルフ・エリスン『見えない人間』

2. 黒人研究会編『黒人研究の世界』青磁書房 2004年6月「アリス・ウォーカー『喜びの秘密』における〈アフリカ〉表象」
3. 山下昇他編『表象と生のはざままで——葛藤する米英文学』南雲堂 2004年8月「『緋文字』とホモソーシャルな欲望」
4. 「新刊紹介 荒このみ著『アフリカン・アメリカンの文学』」『英語青年』第150巻第8号 研究社 2004年11月

* 主な研究課題：ジェンダーで読むアメリカ文学

山本和明

1. 「千蔭と梅花——春曙文庫『梅花辞』翻印——」『相愛大学研究論集』第20巻 2004年3月

* 主な活動：a. 科学研究費基盤研究 B1「原典資料の調査を基盤とした仮名垣魯文の著述活動に関する総合的研究」（研究代表者谷川恵一）研究分担者

b. 大学共同利用機関法人国文学研究資料館共同研究員（テーマ「開化期戯作の社会史研究」）

山本幸男

1. 「奉写御執経所・奉写一切経司関係文書の検討——伝来の経緯をめぐって——」『相愛大学研究論集』第20巻 2004年3月
2. 「反故にされた万葉仮名文書」『日本歴史』第675号 2004年8月
3. 「天平十二年の『華嚴経』講説——金鐘寺・元興寺・大安寺をめぐる人々——」続日本紀研究会編『続日本紀の諸相』所収 塙書房 2004年10月
4. 「孝謙上天皇と道鏡——正倉院文書から見た政柄分担宣言期の仏事行爲——」『続日本紀研究』第352号 2004年10月

* 主な研究課題：

- a. 写経所文書の復原的研究
- b. 奈良朝仏教教学史の研究
- c. 古代難波地域の実態的研究

「摂津国府遷建と難波地域——天長二年の施策をめぐって——」（『難波宮から大坂へ（仮題）』〈和泉書院〉に掲載予定）を執筆。